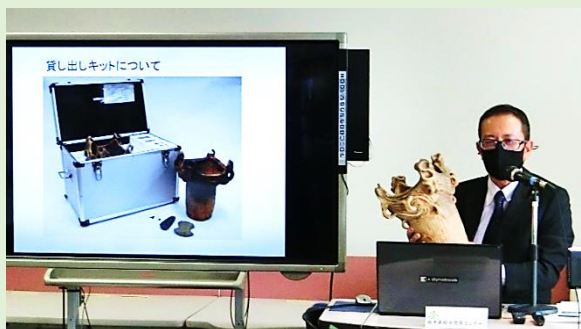


# 令和4（2022）年度栃木県教育研究発表大会報告

令和4（2022）年度栃木県教育研究発表大会は、令和5（2023）年1月27日（金）・28日（土）の両日、栃木県総合教育センターを会場に、オンライン（Zoom 配信）により15の部会と記念講演を開催しました。2日間で、延べ1,410人の参加があり、盛会のうちに終了しました。下記において部会の一部を紹介します。

1月27日（金）の1部では、「とちぎふるさと学習」、「生涯学習」、「子どもの安全・安心」の各部会が開催されました。「とちぎふるさと学習部会」では、「ふるさとととちぎ」への愛情と誇りを涵養する」をテーマに、博物館、文書館、埋蔵文化財センターが行った出前授業等の具体例や授業等に貸し出しできる資料等の紹介があり、「ふるさとととちぎ」を楽しく学ぶ授業づくりを考えるよい機会となりました。



【「とちぎふるさと学習部会」における実践発表の様子】

1月27日（金）の2部では、「人権教育」、「学力向上」、「情報教育」の各部会が開催されました。「情報教育部会」では、「ICT教育の推進と充実を目指して」をテーマに、小学校2校、高等学校からの実践発表及び川島芳昭教授（宇都宮大学共同教育学部）からの指導助言がありました。各実践発表の事例からその成果や課題を確認することができ、今後のICT教育の推進について考えるよい機会となりました。



【「情報教育部会」における実践発表の様子】

1月28日（土）の1部では、栃木県総合教育センター設立30周年を記念し、「記念講演」が開催されました。講師として、前文部科学省国立教育政策研究所長の浅田和伸先生をお迎えしました。これまでの多岐にわたる御経験から発せられる言葉には、飾らず重みがあり、参加者の心に響くものばかりでした。浅田先生が一貫して「子どもの幸せにつながっているか」を軸に考える姿から、参加者がそれぞれの立場で「教育に最も大切なものは何か」について改めて考えさせられる時間になりました。



【「記念講演」の様子】

1月28日（土）の3部では、「特別支援教育」、「教科指導充実（小・中）」、「教科指導充実（高）」の各部会が開催されました。「教科指導充実（高）部会」では、「資質・能力の育成を目指した学習評価の充実」をテーマに、国語科、公民科、数学科、理科の実践発表及び人見久城教授（宇都宮大学大学院）からの指導助言がありました。各実践発表の事例から成果や課題を確認することができ、新学習指導要領の示す観点別学習状況の評価と指導の在り方について理解を深めることができました。



【「教科指導充実(高)部会」における実践発表の様子】

これらの部会以外にも、1月27日（金）の3部では、「児童・生徒指導」、「道徳教育」、「総合的な学習・探究」、1月28日（土）の2部では、「校内研修」、「幼小連携」、「外国語（小・中・高）」の各部会が開催されました。各部会においては、Zoomのチャット機能を活用して質疑応答なども行われました。発表者や指導助言者、運営関係者の熱い思いも含めて、参加者の皆様に届いたことと思います。

参加者のアンケートから、「自身の見識が深まり、大変有意義な時間となり楽しかったです」、「具体的な実践例の紹介が大変参考になりました。明日からの指導に反映させていきたいです」、「記念講演は、教育者としての生き方を知ることができる内容で大変心にしみました」など、多くの感想が寄せられました。